

第一回 学校運営協議会議事録

〈日時〉 令和5年6月28日(水) 15:30~16:50

〈場所〉 メモリアルルーム

〈出席者〉 **学校運営協議会委員** 谷村 奈奈(保護者)、佃 英男(学校関係)、
鉄沢 尚美(学校関係)、後上 鐵夫(学識経験者)
本校教職員 小畑 敦彦、川端 裕子、四反田武志、松下 知弘、
秋山 広樹、今井 豪磨

(敬称略)

〈資料一覧〉

- 1 令和5年度 大阪府立貝塚高等学校 学校運営協議会委員
- 2 令和5年度 学校経営計画及び学校評価
- 3 さらにその先… (貝高の教員のめざすもの)
- 4 スクール・ポリシー案の作成について
- 5 進路指導部資料
- 6 広報資料「さあいこう、貝高！」
- 7 令和4年度入学生 1年次アンケート
- 8 生活指導部資料

〈議題等〉

- 1 開 会
- 2 校長挨拶
- 3 委員紹介・事務局・出席者紹介 ならびに 会長・副会長選出
- 4 議 事
 - (1) 今年度の学校経営計画について (資料2,3) 校長
 - (2) スクール・ポリシーについて (資料4) 校長
 - (3) 進路状況について (資料5) 進路指導主事
 - (4) 広報活動について (資料6) 首席
 - (5) 新入生の状況について (資料7) 1年主任
 - (6) 本校生の現状と本年度の方針について (資料8) 生徒指導主事
 - (7) その他
- 5 質 疑
- 6 閉 会

協議内容

■ 校長挨拶

コロナが5類になり、学校生活も行事も元の形に戻りつつある。修学旅行は今年も行けると思う。部活動大阪モデル、貝塚南とペアリング。今後変わっていく。

■ 委員紹介（五十音順）

国立特別支援教育総合研究所	後上 鐵夫 様	(学識経験者)
PTA 会長	谷村 奈奈 様	(保護者)
本校同窓会副会長	佃 英男 様	(学校関係者)
本校元 PTA 会長	鉄沢 尚美 様	(学校関係者)
林宝泉堂	林 孝信 様	(地域住民)
貝塚市立第一中学校校長	山下 勝也 様	(地域住民)

■ 会長・副会長の選出

会長・副会長選出が行われ、会長に後上鐵夫委員、副会長に佃英男委員が選ばれた。

■ 議事（○は委員からの質問・意見）

(1) 今年度の学校経営計画について [校長]

- ・めざす学校像
多様性がキーワード
- ・中期的目標
働き方改革 → ICT をツールとして活用、業務の見える化
- 訂正箇所は？
→ 前回（昨年度最終）にお示しした案から、内容の変更はない。
今年度から、中期的目標の「4働き方改革」が付け加わった。
- ・昨年度承認されたが、改めて承認される。

(2) スクール・ポリシーについて [校長]

- ・スクール・ポリシー、スクール・ミッション等の説明
アドミッション、カリキュラム、グラデュエーションの3つ
- ・この場で、「これを盛り込んでほしい」というものがあればお願いしたい。
- 「自立支援コース」について教えてほしい
→ 知的障がいのある（療育手帳を持つ）生徒のためのコース 「ともに学び、ともに育つ」教育
もともとは生徒側の要望から生まれたもの 20年程前に制度化され、そのときに本校にも設置 [校長]
- インクルーシブ教育（障がいある生徒とない生徒と一緒に学ぶ）をどんどん進めてほしい。
- 貝塚高校は地域に根ざした学校ということもあり、自立支援コースで学んだ生徒が、立派に活躍している
ということを知っている。

(3) 進路状況について ※資料のとおり。

(4) 広報活動について [首席]

- ・チラシ（パンフレットに挟み込む） 目的・・・次年度の新入生の獲得
- ・令和5年度入学生1年次アンケートから
今年度は「併願した私立高校は？」という項目を設置
本校を受験した理由の上位3つ：「総合学科だから」「自宅から近いから」「行事が魅力的だから」
受験時に比較した公立高校：「貝塚南」「りんくう翔南」が多数
- 「総合学科」と一言でいっても、受験生が理解できるのか？（難しくないか？）
もっとわかりやすくできないか？[委員]
→ チラシの裏面にパックの詳細説明を入れる、説明会でスライドを使う等により丁寧に説明を行っている。
新入生（1年生）に向けて、今年度から「パックオリエンテーション」という企画を作った。
科目選択の前に、それぞれのパックについての理解を深めてもらった。[首席]
→「総合パック」を新設。生徒に合わせたパック、卒業後の進路を見据えたパック選択など。[教頭]

(5) 新入生の状況について [1年主任]

- ・体育祭は全員参加できた
- ・職員室に話をしにくる生徒が多い
- ・コロナ生活が長く、（昼食時のコミュニケーションなど）元の生活（友達との付き合い方）がわからないという生徒がいる
- ・「自律」「自立」を目標にしている
- ・生徒を褒めることを意識している ※懇談等での「生徒の頑張り賞賛シート」……好評でした

(6) 本校生の現状と本年度の方針について [生徒指導主事]

- ・遅刻・欠席等の状況（近年多くなっている）
コミュニケーションが取れない生徒が多くなっている
遅刻・欠席への抵抗がなくなっている（コロナ禍で「体調不良なら欠席しなさい」の影響か）
皆勤等の人数はあまり変わらない
- ・遅刻指導について
- ・皆勤と精勤について
- ・懲戒件数（昨年度は増えた）
- ・令和5年度 生活指導部関係行事等
 - ①身だしなみキャンペーン ②校外指導 ③交通安全講習会
 - ④避難訓練 ⑤薬物乱用防止講習会 ⑥9月大阪880万人訓練 ⑦その他
- ・服装（身だしなみ）の指導を強化していきたい
きっちりと説明しないと反発する生徒もあり、生徒とのコミュニケーションを取りながら指導している。
- 登下校時の問題（苦情）はないのか？
→ ある。外部の方から情報が入り次第対応している。
- 最近大麻の乱用が増えており、子どもたちにどう指導していけば良いか悩んでいる。子どもたちは、コロナ禍で、SNSでのコミュニケーションが増えたことで、会話ができないことも原因で居場所がない子が多い。若い子どもたちの楽しい場所（家や学校など）、自分を褒めてくれる場所が少ない社会になっているのではないか？学校や家庭で子どもと向き合って、子どもたちを褒めてやってほしい。そうして居場所を作ってあげてほしい。

- 人に褒められる経験を重視している。世の中には発達障がいの人がたくさんいる。(大学の教授の7割が発達障がいなど) 薬物を乱用している子どもたちも増えているのも現状である。
- 遅刻が増えていると言っていたが、同じ生徒が繰り返しているのか?
→ 必ずしもそうではない

■ 質疑等

- 褒める教育を続けてほしい
- 褒めて伸ばすという教育が大切だと実感した。(自分たちが受けてきた教育と変わってきている)。子どもたちの居場所がとても大事。学校だけでなく家庭でも同じ。
- ユネスコは「日本の特別支援教育(分けて指導している)は差別教育だ」と言っている。
- 最近「できない」と簡単に言う子どもたちが増えてきている。金メダリストの「Impossible is I' m possible.」
「できない」はちょっとしたことで「できる」ようになる。

■ 今後の予定

- 第2回 10月18日(水) 14:00~16:50 (授業見学を含む)
- 第3回 1月24日(水) 15:30~16:50